学校番号	１０１２

令和８年度　理科

教科	理科	科目	(学)ライフサイエンス	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年間様々な実験を行うことで、科学への興味関心を高めていく科目です。実験を行った後には考察・ふりかえりをし、科学的にものごとを考えられるようになってもらいたいです。

2　学習の到達目標

【知識・技能】
　実験器具の基本的な使い方を身に付け、実生活の事故等の原理を理解する。
【思考・判断・表現】
　日常生活で起こる様々な現象について、科学的な視点で考えることができる。
【学びに向かう力・人間性等】
　自ら考えた実験を考案・修正を繰り返しながら、実験方法や考察を相手にわかりやすく伝えることができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	観察・実験を行い、基本操作を習得すると共にそれらの過程や結果を的確に記録・整理し、自然の事物・現象を科学的に探究するための知識や技能が身についている。	自然の事物・現象の中に問題や共通点を見出し、探求する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に、わかりやすく表現できる。	自然の事物・現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探求しようとすると共に、自ら積極的に実験を進めていくなど科学的態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	実生活の科学	・身の回りの pH を調べよう ・カラーファイヤー(炎色反応) ・科学探査官(ルミノール反応) ・ナイロン作り	a:基本の実験操作を行うことができる。器具の名前やその事象のしくみを知識として身に付ける。 b:考察をし、その事象の原理を理解し、表現できる。 c:積極的に行動し、ほかにどんな工夫があるかを考え、試行錯誤ができる。	筆記テスト 実技テスト	筆記テスト レポート	ワークシート 振り返り 授業中の態度
2学期	実生活の科学	・アイスクリームをつくろう(溶解熱) ・界面活性剤と水の関係 ・セッケンづくり ・シャボン玉の原理	a:基本の実験操作を行うことができる。器具の名前やその事象のしくみを知識として身に付ける。 b:考察をし、その事象の原理を理解し、表現できる。 c:積極的に行動し、ほかにどんな工夫があるかを考え、試行錯誤ができる。	筆記テスト 実技テスト	筆記テスト レポート	ワークシート 振り返り 授業中の態度
	実生活の科学	・水素爆鳴気 ・油火災のしくみ ・近隣の小学校での出前授業	a:基本の実験操作を行うことができる。器具の名前やその事象のしくみを知識として身に付ける。 b:考察をし、その事象の原理を理解し、表現できる。 c:積極的に行動し、ほかにどんな工夫があるかを考え、試行錯誤ができる。	筆記テスト 実技テスト	筆記テスト レポート	ワークシート 振り返り 授業中の態度
3学期	実験発表	オリジナル実験 ・班で企画書作成 ・発表準備・予備実験 ・発表	a:班で決めた実験の原理を理解することができる。 b:班で決めた実験を成功させるために、試行錯誤を重ね、成功率を高めている。また、その実験の原理について説明できるようになる。 c:クラスの生徒にわかりやすく伝えるための工夫ができている。	企画書	発表 レポート	発表 振り返り 授業中の態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度